



令和4年度自衛官候補生課程入隊式

連隊は、4月3日(日)真駒内駐屯地西体育館において令和4年度自衛官候補生課程入隊式を挙行了した。

厳肅な雰囲気の中、真新しい制服に身を包んだ自衛官候補生42名は背筋を伸ばし緊張した面持ちで入隊式に参加した。

同期を代表し指揮をした中川候補生(北広島市出身)は入隊式終了後、「これから本格的な訓練が始まるが、どんな厳しいことがあっても同期と団結して乗り越えていきたい」と抱負を述べた。

教育隊はこれから約3ヶ月にわたり戦闘訓練や武器訓練等、様々な訓練により、陸上自衛官として必要な資質や知識・技能等を習得させる。教育修了後、正式に自衛官として任命され後期教育に移行する予定である。



代表して辞令書を受け取る中川候補生



宣誓を唱和

第35代連隊長 聖徳1佐着任



着任式で敬礼を受ける連隊長

第35代連隊長 聖徳1佐の着任式を挙行了した。着任の辞において、統率方針に「所命必遂」要望事項に「向上」と「連携」の2点を要望した。聖徳連隊長は、同日の状況報告や初度巡視を通じ、連隊の状況を把握して、新たなスタートを踏み出した。

また、3月27日(木)には、幹部等精神教育を実施し、統率方針・要望事項を具現するため、その考え方を徹底して、隊員の使命感を醸成した。



幹部等精神教育

令和3年度旅団迫撃砲射撃競技会

連隊は、2月27日(日)から3月1日(火)までの間、旅団迫撃砲射撃競技会に参加した。第3普通科中隊迫撃砲小隊が旅団最優秀小隊の表彰を受け、輝かしい連隊の歴史にその名を刻んだ。迫撃砲小隊、重迫撃砲小隊ともに、各機能において、弱点・不備事項を明らかにして更なる練度向上を図っていく。



弾薬を受け取る分隊員

最先任上級曹長交代式

連隊は、3月10日(木)に最先任上級曹長交代式を挙行了した。第7代最先任上級曹長に着任した高橋准尉は、合言葉として「執念」を掲げ、任務を完遂すべく自ら考えて行動できる隊員育成のため、准曹士の目標となるべく先頭に立ち、明るく風通しの良い連隊作りを全身全霊で取り組むことを誓った。



左から中田准尉 高橋准尉

第3次連隊実爆訓練

連隊は、令和4年3月4日(金)から令和4年3月8日(火)までの間、第3次連隊実爆訓練として、破壊筒・集団装薬及び携帯処理器材の実爆訓練を実施した。

特に破壊筒による地雷原の人員用通路開設や集団装薬による車両用への拡幅、急造破壊筒による鉄条網の破壊等、実爆による景況を確認させて、戦闘の様相の理解・促進を図った。



集団装薬を点検する隊員



破壊筒を設置する隊員



旅団長に表彰される第3普通科中隊



射撃準備(弾薬を点検)する隊員



メダルを授与される板倉2曹

令和4年度旅団最先任上級曹長優秀隊員として、第3普通科中隊の板倉2曹がA S A M選手権を授与された。メダルを授与された。今後は連隊及び、中隊の射撃指導部として、益々の活躍が期待される。

旅団最先任上級曹長メダル受賞

退官者紹介



(4) 江川 第1普通科中隊
3等 陸尉
3 聡

(4) 仁岸 本部管理中隊
3等 陸尉
3 隆司

(4) 池田 本部管理中隊
3等 陸尉
3 靖雄

隊員コーナー

令和3年12月1日に同部隊で勤務している妻と結婚しました。休日となれば二人で海で釣りやアウトドアなど、北海道ライフを満喫しています。私は大分県出身、妻は広島県出身ですが、今後と北海道に根をはり、二人で助け合い、共に時間を過ごしていきたいと思っております。

寺次2曹(妻 寺次3曹)ともに本部管理中隊

